

市政を問

平成27年 第4回定例会一般質問 質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

国分寺市の史跡・文化財の保存と広報の現状



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海 井澤市長が全国史跡整備市町村協議会長に就任された。この協議会について説明を。

教育長 全史協と呼んでいます。国の史跡、天然記念物、重要文化的景観等が所在する市町村で構成、各自治体が協調して史跡の整備、保存に当たる。全国567自治体が加盟している。

新海 今回は市長の会長就任を記念して、当市の史跡、文化財等の保存状況等について尋ねる。

新海 旧石器時代遺跡の最初の発見地は群馬県岩宿と教科書に載っている。しかし恋ヶ窪でそれ以前に旧石器の遺跡が発見されていた。残念ながら岩宿に先を越されたが、その時の経緯は。

教育部長 西恋ヶ窪3～4丁目の熊ノ郷遺跡がそれに当たる。初代市長の星野亮勝氏が昭和20年頃にローム層より石器を発見し、不思議に思い考古学者の甲野勇氏に見てもらった。甲野氏は一緒に調べてみると約束したまま忘れてしまい、岩宿の発表後「私はとんでもないことをした、星野氏に申し訳なかった」と述べています。

新海 本当に残念なことです。すぐ発表していれば熊ノ郷遺跡が日本初の旧石器の発見地として教科書に載り、国分寺が全国的に有名になった訳です。やはり2番では駄目なのです。ぜひ現地に経緯を記した説明板を置いてもらいたい。

教育部長 熊ノ郷遺跡の中で看板を建てられる適切な所を見つけて設置する方向で検討したい。

新海 明治26年学会誌に国分寺村で縄文土器や石器が層状に埋まっている場所が発見され、それに日本で初めて「遺物包含層」という名が付けられているが、この場所はどこか。

教育部長 遺物包含層の日本最初の発見地は本町2丁目～南町2丁目にかけて旧国分寺街道の当時甲武鉄道の踏切り付近の崖と想定されます。

新海 昔はこの付近に遺物包含層発見地の説明板があったのですが、今どうなっているのか。

教育部長 国分寺駅北口自転車駐車場建設の際に撤去して、そのままになっている。

新海 説明板はぜひ現地に戻してもらいたい。なおこの踏切りでは死亡事故があり、その供養のための地蔵尊が商店会の中に置かれている。

市民の市民による市民の為の国分寺農業を！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼都市農業振興基本法は国分寺農業を元気に？

【問】 都市農地の保全や都市農業の継続性に大きな希望をもたらす法制化と考える。農業委員の仕事は多く、この改正を機に負担感を払拭すべく対応願う。国分寺市の都市農業は、若い就農者を中心に地産地消や都市農業の在り方に創意工夫がなされ、もはや第一次産業というカテゴリーではなく「市民の市民による市民の為の農業」と呼ぶに相応しい産業へと変貌を遂げた

と言っても過言ではない。市の対応は如何に？

【答】 国の基本計画が示された際には今年度策定予定の「第三次国分寺市農業振興計画」について、修正・改定が想定される。市内農畜産物の生産の振興を、市内の農業者、J Aなどと連携して取り組むよう努めるとともに、小学校給食への地場野菜使用率向上などにも取り組む。

▼空き家・空き地対策について

【問】 社会問題化しつつある空き家問題に特措法や条例が制定され、所有者に対し適正管理が義務付けられた。一方で、倒壊や放火の未然防止は急務であり一刻も早く管理不全な状態を脱する措置が必要。市内の様々な団体や近隣住民の方々にもご協力を頂き、時には利活用をも視野に入れ空き家の適正管理に努めて頂きたい。

【答】 シルバー人材センターに協力頂き実態を調査している。管理不全な案件については改善依頼し一軒でも空き家を減らす施策を進める。

▼都市計画道路 国3・4・6号線について

【問】 本多5丁目～日吉町交差点を結ぶ市内東西幹線道路となるべく計画され約50年が経過する。公共事業の為、断腸の思いで先祖代々の土地を提供された地権者の思いに報いる為にも早期の開通を切望する。

【答】 平成25年から東京都が事業主体となり、1日でも早い事業完了に向け東京都としっかりと連携し事業推進に取り組む。

▼市内小・中学校の体育施設の健全利用

限られた施設が効率良く健全に活用されるよう、利用者同士顔が見える運営協議会のようなコミュニティ新設を提案する。→研究していく。

誰もが出かけられるまちづくりを推進しよう



公明党 さの 久美子

1. 姉妹都市について

平時の交流が大事であることから、災害時の相互応援協定から飯山市を含む4市との姉妹都市締結を提案する。**市長** 災害協定先と関係を深めるため、今後早急に検討したい。

2. タウンモビリティについて

障がいがあっても高齢になっても自由に移動ができるまちにしようという取組み。誰もがまちにでかけられるまちづくりの観点を(仮称)国分寺市総合ビジョンへ生かすべき。また、福祉の観点でどう考えるか。**市政策部** 市民力も必要であり、大きな研究課題として受け止める。**市福祉部** 提案を参考に市の地域性をふまえ、従来実施してきた社会参加の取組みに地域福祉の視点を加え、推進していきたい。

3. 認知症対策について

●徘徊高齢者見守りのための新しいシステム「見守りカード」は家族に安否を知らせ、居場所も確認でき、シールは衣服に貼ることもできるもの。検討すべきでは。**市** 現在のシステムにも課題がある。提案を参考にし検討したい。

●小学校での認知症サポーター養成講座の今後の拡大への取組みは。**教育長** 今年度は2校に拡大できた。教育の一環として価値がある取組みだと思う。情報共有し拡げていきたい。

●認知症カフェの進捗状況は。**市** 老健にんじ

ん健康ひろば、特養サンライトとの2か所で試行的に実施し、来年度の本格実施を目指す。

●キャラバンメイト養成講座開催の進捗状況は。**市** 12月23日に開催する。周知していきたい。

●特養サンライトとの福祉避難所協定締結状況は。**市** 11月18日に社会福祉法人浴光会と災害時における高齢者支援に関する協定を締結した。

4. 安全・安心のまちづくりについて

(1)災害時のトイレ対策は「避難者の安心感」につながる。大規模集合住宅へのマンホールトイレ設置啓発の現状は。**市** 住宅建設時に協議、設置を推進している。(2)応急給水のためのスタンドパイプ、地区防災センターで初動要員中心の訓練をすべき。**市** 訓練を実施していきたい。

西側地域の格差「感」解消を求めよう！！



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

ぶんじ商品券の販売について

だて) ぶんじ商品券の販売店舗が多かった国分寺駅周辺に対し、少なかった西側地域の購入者数の差は最大8倍近くとなった。偏りを是正すべく公民館などの公共施設を使って販売すべきであったと考える。また高齢者や障がい者への配慮も欠けていたと思うが見解を求めよう。

答 偏りが出ることは想定していたが、対応できなかったことは反省している。次回機会があれば高齢者や障がい者への枚数の割り振りなども含め、多くの方に納得頂ける方式をとりたい。

西側地域の住民が持つ格差感について

だて) 今回のぶんじ商品券もひとつの例だが、実際に様々な点で東西の格差を感じてしまうような事例は多くある。市役所の長年の前例や経緯の中で東側中心ということが期せずして常態化しているようなことはないか？見解を伺う。

副市長 地域の特性は様々あるが、東西の格差感が生じないように、努めて参りたいと考える。だて) まず配慮を持つところから始めてほしい。

滞納繰越市税の徴収について

だて) 市税、国保税の滞納繰越について状況はどうなっているか？

答 市内の滞納者は3466件で約7.5億円、市外に転出された滞納者は1723件で約2.5億円である。

だて) 市外転出者への対応強化にむけ、市外での直接訪問による催告(支払い依頼)を外務委託し、全国的に行うことにより、滞納者に転居してもしっかりと税金を払ってもらうという強いメッセージを出すべきと考えるがいかがか。

答 有効な手段であると考えている。小平市や調布市などの事例を研究し、検討していきたい。だて) 逃げ得は許さないという強い姿勢を！

アクティブラーニングについて

だて) 次期学習指導要領の目玉になるであろうといわれているアクティブラーニング(能動的学習法)についての現状認識を伺う。

答 子どもたちにも、教員にも大きな変化となる。教育委員会でも取り組みを進めている。

だて) 子ども達の為にも早期の対策を要望する。